

<705> 「学力の3要素」の学習活動で出る「学習しぐさ」のエッセンスは？

「学力の3要素」の学習活動で出る、生徒の姿勢・視線・表情・手の動きなどの「学習しぐさ」のエッセンスを示してみます。サンドイッチ型の「導入・展開Ⅰ・展開Ⅱ・まとめ」の授業構成により、資料で示すような「学習しぐさ」が出てきます。例えば、「思考力・判断力・表現力等」での「学習しぐさ」は、「知識及び技能」の時のような全員同じ姿勢でなく、それぞれ各生徒によりマチマチの「学習しぐさ」が出てきます。「学習しぐさ」を指導改善の評価資料として活用しては、いかがでしょうか。「学力の3要素」での「学習しぐさ」の内容について、詳しく知りたい方は、参考資料をご覧ください。

資料-1:「導入」の学習活動で示す「学習しぐさ」の例



①本時のねらいや授業予定を一斉に同じ姿勢・目線で聞く



②左と同様、本時のねらいや授業予定を一斉に同じ姿勢・目線で聞く、指導スタイルに個性がでない

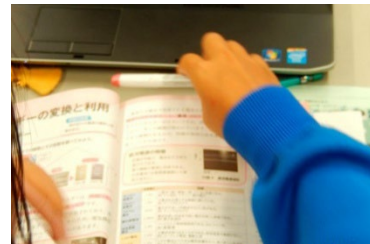
資料-2:展開Ⅰ「知識及び技能」の学習活動で示す「学習しぐさ」の例



③基礎内容の説明を聞く



④基礎内容をノートにまとめる

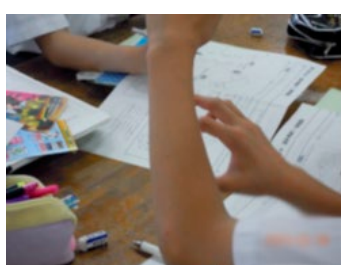


⑤大事な箇所にマーカーで印す

資料-3:展開Ⅱ「思考力・判断力・表現力等」の学習活動で示す主体的に学ぶ「学習しぐさ」の例



⑥互いに相談する



⑦手で動きをシミュレートする



⑧教科書で必要な内容を調べる



⑨鉛筆を回しながら考える



⑩頭を抱えながら考えたことをまとめる



⑪真剣な態度で考えたことをまとめる



⑫消しゴムを使いながら考えたことをまとめる

資料－4:まとめ「技術を工夫し創造する実践的な態度」の学習活動で示す「学習しぐさ」の例



3枚ともに、「まとめでの「学習しぐさ」
「導入」は、心的・態度ともに一点集中だが、「まとめ」は、心的に集中しているが、態度はマチマチ

参考資料:「学力の3要素」で出る「学習しぐさ」の例

	「知識及び技能」	「思考力・判断力・表現力等」	技術を工夫し創造しようとする実践的な態度
視線や姿勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○板書や教師に集中 ○ノートに集中 ○文字の記載方向は連続的で揃う ○文字の大きさは揃う ○身体・心的にも一点集中 ○聞く姿勢 (Ph-①) ○わからないときは、周囲の生徒に軽く短い時間で聞く ○わからないと鉛筆回しをする ○興味・関心がないときは、そっぽを見る 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提示を指示する まず、浅い思考 ○教科書や資料を見る ○視線は上向き ○近くの生徒と相談する (Ph-⑥) ○動きをシミュレートする (Ph-⑦) つぎに、思考停止 ○宙を見る ○当たりをキョロキョロ ○机にうつぶせ、手で顔を覆う ○鉛筆回し (Ph-⑨) 最後に、深い思考 ○ノートに集中する (Ph-⑩) ○全部消すように消しゴムを使うようになる (Ph-⑫) ○前屈み、ワークシートは斜め、筆圧は強い ○頭が下がり姿勢が下向きに ○個人でそれぞれ勝手に 	<ul style="list-style-type: none"> 導入時 ○視線や心的は集中しているが、手の位置はまちまち ○思い出しながら記載する ○姿勢の向きは同じだが、視線は心的には集中している ○板書や教材に集中する ○「はい!」「はい!」と皆が挙手して発言したが ○「わー」「なに」の興味を示すつぶやき、「へえ〜」「すごーい!」「はやすぎ!」のような反応やざわめき、おどろき、喜び等の感情表現が様々 まとめ時 ○動的にバラバラであるが心的には一点集中 ○自由な姿勢 ○思考時の学習しぐさも出る
表情	<ul style="list-style-type: none"> ○熱心な表情 ○全員が同じ表情 	<ul style="list-style-type: none"> ○眉間にしわがでる、きつい表情 ○個人バラバラで違う表情 	<ul style="list-style-type: none"> ○柔らかい表情 ○個人で違う表情
手	<ul style="list-style-type: none"> ○机、教科書、ノート ○膝の上に ○場合により頬に 	<ul style="list-style-type: none"> ○手を口・鼻・耳・頭・頬・髪に、場合により触る ○指を口にくわえる 	<ul style="list-style-type: none"> ○手を組む、交差させる ○膝の上に ○腕組み